



# いつまでもお元気で 敬老会開催

今年の75歳以上の敬老者は883名



9月14日(土)、大衡中学校講堂を会場に敬老会が開催され、75歳以上の敬老者883名のうち138名が出席されました。長寿をお祝いすると共に、これまでのご労苦や地域の発展に尽力されたことに感謝し、村から記念品や敬老祝金が贈られました。今年新たに敬老者の仲間入りされた方は54名で、そのうち今年初めてご夫婦で敬老者となった10組の方々には祝詞と記念品が贈られました。

式典後のアトラクションでは、塩竈市在任の貴磨&大橋利奈さんによる舞踊・歌謡ショーと、村文化協会加盟団体の山き会とみんなを癒す会による踊りが披露され、敬老者の皆さんは、昼食をとりながら和やかに楽しいひとときを過ごしました。



▲貴磨&利奈さんの親子共演が会場を魅了しました



▲敬老祝金の贈呈



▲ご夫婦そろって敬老を迎えられました



▲謝辞を述べた早坂昌郎さん(衡上)



▲昼食をとりながら和やかに歓談



▲避難所の運営を体験



▲みんなで協力し、倒れたブロック塀から救出



▲炊き出し訓練



▲防災ヘリからの空中消火



▲AEDの使い方を体験



▲土砂に埋もれた車両から要救助者を救出

「防災の日」の9月1日(日)、快晴に恵まれた中、小学校や第一仙台北部中核工業団地など村内5カ所を会場に、警察や消防、自衛隊、医療機関、大衡村と防災協定を結んでいる企業など約80機関から約1,500名が参加し、第51回目となる宮城県9・1総合防災訓練を実施しました。

小中学校は登校日とし、全児童、生徒が参加したほか、各地区の自主防災組織や消防団、婦人防火クラブ、交通安全指導員など村民総参加での訓練となりました。

特に中学生は将来の防災の担い手として救出訓練など様々な訓練に、積極的に参加していました。

宮城県9・1総合防災訓練は、毎年県内11の消防本部ごとに各市町村持ち回りで開催しています。

地震・大雨・土砂災害の発生時において防災関係機関・各種団体及び村民が一体となり、迅速かつ的確な初動体制や災害応急活動が実施できるよう相互の協力体制の確立を図るとともに、村民の防災意識の高揚と、防災知識や技術の習得、将来の防災の担い手づくりを目的に開催しました。

閉会式では、村井嘉浩宮城県知事から「突発的で大規模な災害が増加している中、この訓練を日ごろからの備えに生かしてほしい」との講評をいただきました。

今回の訓練を通して、改めて災害への備えを確認する良い機会となりました。

## 宮城県9・1総合防災訓練を実施

「災害から守れ、自分で、家族で、地域で」